

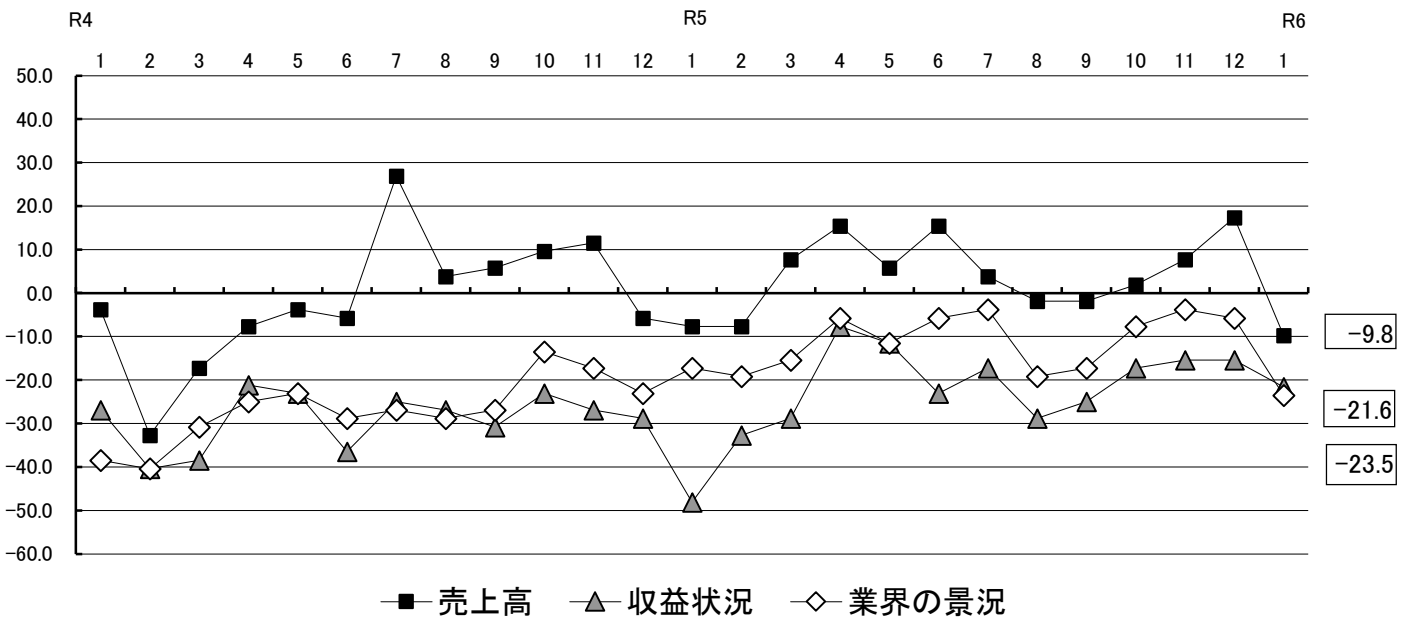
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和6年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標は、売上高と景況が大幅に低下、収益状況も低下した。
- 先月から悪化の傾向となったが、今月は特に非製造業の全業種においてさらに悪化した。
- 能登半島地震の影響は、繊維関連の業種で生産計画などに影響が出ており、他業種でも影響を注視している状況である。自動車メーカーの相次ぐ問題で生産の縮小・先送りや輸送の減少などの影響が広がっている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-9.8	-27.1	-8.9	-8.1
収益状況	-21.6	-6.2	-22.9	-4.9
業界の景況	-23.5	-17.7	-24.1	-5.0

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より27.1ポイント低下し-9.8ポイントとなった。全国においては、前月より8.1ポイント低下し、-8.9ポイントとなった。

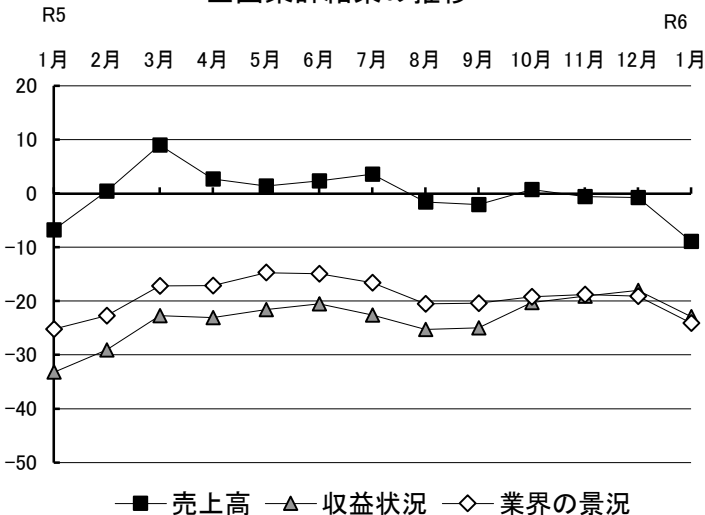
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より-6.2ポイント低下し-21.6となった。全国においては、前月より4.9ポイント上昇し、-22.9ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より-17.7ポイント低下し、-23.5ポイントとなった。全国においては、前月より5.0ポイント低下し、-24.1ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

1月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中7指標が低下した。主要3指標は「売上高」は27.1ポイント、「業界の景況」は17.7ポイントと大幅に低下、「収益状況」は6.1ポイント低下した。

先月から悪化の傾向となったが、今月は特に非製造業の全業種においてさらに悪化した。

能登半島地震の影響は、繊維関連の業種で生産計画などに影響が出ており、他業種でも影響を注視している状況である。自動車メーカーの相次ぐ問題で生産の縮小・先送りや輸送の減少などの影響が広がっている。金型の動きが全くないとの報告もあり、今後深刻な影響が出ることが懸念されている。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	75.0	-25.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
木材・木製品	-25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-75.0	25.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	25.0	-50.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
製造業	4.0	0.0	28.0	0.0	-16.0	0.0	-12.0	4.0	-28.0
卸売業	-33.3	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0		-33.3	33.3
小売業	-33.3	-33.3	0.0	-33.3	-50.0	-33.3		-16.7	-66.7
サービス業	-16.7		66.7	-16.7	0.0	-33.3		16.7	-16.7
建設業	-20.0		40.0	0.0	-40.0	0.0		-40.0	-40.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-23.1	-22.2	26.9	-11.5	-26.9	-15.4	-11.5	-19.2	
全体	-9.8	-5.9	27.5	-5.9	-21.6	-7.8	-12.0	-3.9	-23.5

図表2 【指標別DI値の推移】

	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	前月比
売上高	-7.7	-7.7	7.7	15.4	5.8	15.4	3.8	-1.9	-1.9	1.9	7.7	17.3	-9.8	-27.1
在庫数量	2.9	2.9	-2.9	5.7	0.0	-8.6	-11.4	-11.4	2.9	-17.1	-17.1	-14.3	-5.9	8.4
販売価格	23.1	25.0	36.5	30.8	36.5	34.6	30.8	19.2	23.1	26.9	26.9	25.0	27.5	2.5
取引条件	-11.5	-9.6	-11.5	-9.6	-7.7	-13.5	-15.4	-11.5	-11.5	-3.8	-3.8	-1.9	-5.9	-4.0
収益状況	-48.1	-32.7	-28.8	-7.7	-11.5	-23.1	-17.3	-28.8	-25.0	-17.3	-15.4	-15.4	-21.6	-6.2
資金繰り	-30.8	-17.3	-19.2	-9.6	-11.5	-15.4	-11.5	-13.5	-11.5	-3.8	-1.9	-5.8	-7.8	-2.0
設備操業度	-4.0	-8.0	-8.0	-0.0	-0.0	8.0	12.0	-20.0	0.0	12.0	-16.0	-8.0	-12.0	-4.0
雇用人員	-1.9	-3.8	-7.7	-3.8	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	0.0	0.0	-3.8	-3.9	-0.1
業界の景況	-17.3	-19.2	-15.4	-5.8	-11.5	-5.8	-3.8	-19.2	-17.3	-7.7	-3.8	-5.8	-23.5	-17.7

特記事項

情報連絡員報告（令和6年1月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	和洋菓子製造業	元旦に能登での地震など大きな災害があり、当初影響を心配したが通常での変化は少なかった。
	めん類製造業	組合員の業況は、県内の地域や規模により業績に大きな格差が出てきたように感じる。どんな得意先に、どのように麺製品を販売しているかにより、社員を増員し好決算を上げた事業者もいる反面、コロナ後の人流の増加により家庭消費が減少し、業績が厳しくなって事業者もいる。原料資材の高騰、コストアップの影響を受け、製品の値上げを3度受け入れてもらっても、数量が減って売り上げが変わらずに、利益的には、厳しい事業者もいる。コロナ明け後は、総じて消費者の消費に対するマインドの波が大きくなったように感じる。各地のお祭りやイベントも総じて減っているように感じる。
繊維工業	縫製業	昨年度から比べれば厳しい状況のもと、同等の売上と利益は確保できた。しかし、業界全体としては決して上向きの要素はなく厳しい状況が続く。能登地震による原料（生地等）の遅れの連絡も入っており、生産スケジュールにも影響が発生している。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	間接的ではあるが、石川県の地震の影響あり。製品の企画変更や加工所の変更等、1月は一部混乱した事業所が散見された。中国の春節前の忙しさと併せてやり繰りに苦労した様子が見えた。相変わらず、レース関係の国内需要は限定的である。定番以外の試作、新作を求めてくる取引先もいるが、どれだけ実需に繋がるか不透明。中間業者などは経営も苦しいようだ。
木材・木製品	一般製材業	住宅着工数の減少により、プレカット工場稼働率は12月をピークに減少している。この理由により住宅用木材の動きが鈍い状態である。
	家具・建具製造業	住宅着工数の減少により住宅関連木工業者の生産活動は低下傾向にある。わずかながら販売価格の上昇はあるものの、収益向上には繋がっていない。
印刷	印刷業	相変わらず需要は低調。環境対応、電子帳簿法、郵便料金値上げ等の対応で印刷物削減を考えているクライアントが増えているようだ。
窯業・土石製品	陶磁器・同関連製品製造業	1月に入り観光客の減少がみられる。製造もあまり進んでなく仕入れも減少している。益子焼原料は通常の製造しており在庫を増やすようにしている。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	自動車関連部品関係は、昨年末から一変して急速に減産傾向にある。年明けから経済も最悪の低迷と感じている。自動車向け金型は全く動きがなく深刻な状況である。自動車メーカーの相次ぐ問題で受注も先送りの状況。円安、株価上昇で大企業は良いでしょうが中小零細は厳しさが増すばかり。年末に賞与を出しても、1月は残業がなく減給になったと苦痛の声も上がっている。市内飲食店も値上げしたら来客数が減少。
一般機器	一般機械器具製造業	令和6年1月の報告は、今月も前年同月と比較し大多数が前年同様との組合員企業から報告を受けている。また、相変わらず仕入れ資材や諸経費等の上昇懸念も引き続き報告されている。これに対し販売価格の転嫁については、自動車関連で価格転嫁が難しい取引先があるとの報告もあるが、他の業界では価格転嫁がすすんでいるところもあるなど、企業間でばらつきがある状況である。収益状況についても全般的に不変といった企業が多い。人手不足との報告もある。
卸売業	各種商品卸売業	当団地組合では、前月同様販売価格は上昇とする企業が多く、業況等は前年同期に比べ好転とする企業が多い。他は不変とする企業が多かった。
	各種商品卸売業	業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。荷動きはあまり良くない。燃料価格は、未だ高値が続いており、物価高騰と相まって、収益を圧迫している。従業員の人員確保が難しい。(募集をかけても集まりにくい。)

小売業	その他の小売業	先月に引き続き、冬季で気温が低い為、ガス・灯油などの燃料の需要は伸びており売上は増加傾向にある。仕入価格の高止まりやランニングコストの上昇も続いており、収益状況や取引条件は好転してはいない。能登半島地震による燃油などの価格に今後影響が出るのか注視していかなければならない。
	各種商品小売業	数年ぶりに冬のクリアランスセール折り込みチラシを配布した結果、正月から前半は非常に好調に推移した。しかし後半に入ると例年以上に落ち着いてしまい、前年と何ら変わらない着地となってしまった。販促費をかけた割に伸びなかったことは次回の反省として活かしたい。
サービス業	自動車整備業	繁忙期の時期に入り販売価格は上昇しているものの、売上は思うように伸びていない状況。
	給食センター	年末年始で組合休もあり、営業日数が少ないこともあり、売上が減少し資金繰りが悪化した。業態としては、依然として厳しいインフレが続いている。
	旅館・ホテル	1月の業況は、能登半島地震と暖冬の影響で悪化した。その一方で宿泊単価が上がっており、その分収益は何とか維持している状況だ。尚、国の高付加価値事業の採択を受け、数軒の宿が長期（1ヶ月ぐらい）休館で工事をしている。この様な中、2名様利用時で1人1泊5万円から10万円前後の宿が数軒出てきた。
建設業	職別工事業	受注減少により今月の売上高は対前期に比べて約30%の減少。材料費等の値上がりは落ち着きをみせている。
運輸業	貨物自動車運送業	当組合の主力ともいえる自動車関連アルミコイルの輸送が思ったより低調であり、また自動車部品梱包も数が少なく不正の影響で車種の生産停止が影響している。1月に入り小口配送の増加による人手不足により、働く人の負担を減らすための新しい人材が集まらない。地域の一部の運送業者では、公共事業の建設用資材の輸送量が増えているとのこと。
	貨物軽自動車運送業	年始から能登半島地震の影響で、食料品、暖房器具、医薬品等の配送で北陸地方への配送が非常に多い月だった。引っ越しシーズンに向け、予約も順調に入っている。
	一般乗用旅客自動車運送業	1月に入り街中も閑散としている。新年会の客を期待していましたが、それほどの動きはない。
その他の非製造業	大谷石採石業	組合員の業況は、変化なし。観光客は冬にもかかわらず一定数が来ている。